

二〇一九（令和元）年十一月三十日（土）
於・パレスイン鹿児島

第12回 九州地区現代俳句大会応募作品集

主催
後援

現代俳句協会九州地区連絡会
現代俳句協会

南日本新聞社

鹿児島県現代俳句協会

鹿児島県俳人協会

鹿児島県詩人協会

第12回 九州地区現代俳句大会

2019年11月30日（土）

於・ホテルパレスイン鹿児島

大会次第

開会の辞 （13：00）

大会会長挨拶 高岡 修

現代俳句協会副幹事長挨拶 網野月を

講演 「新興俳句と九州の俳句作家たち」

講師 中村和弘（現代俳句協会会長）

対談 「俳句の現在／俳句の未来」

齋藤愼爾（俳人・深夜叢書社主）× 高岡 修（詩人・俳人）

大会入賞作品発表

大会入賞作品講評

表彰

閉会の辞 （16：00）

第12回 九州地区現代俳句大会入賞作品

大会賞 18点

661 仰向けに死ぬこと日傘たたむこと 大下真理子

現代俳句協会賞 17点

148 寂しさの真ん中に置くラ・フランス 秋山青松

九州地区現代俳句協会賞 16点

553 秋風はまず針穴を通るかな 堀口良子

鹿児島県現代俳句協会賞 15点

27 太陽に手を突っこんでトマト挽ぐ 田口辰郎

鹿児島県俳人協会賞 15点

327 田植機に水の言葉があふれ出す 谷川彰啓

鹿児島県詩人協会賞 14点

254 いつか逝く天に手を挙げ盆踊り 河野輝暉

南日本新聞社賞 14点

112 薄味の夫婦でしたね彼岸花 森 径子

秀逸賞 13点

644 大夕焼け隣のとなりも空家です 倉田玲子

秀逸賞 12点

179 がん告知残暑へ開く自動ドア 若松節子

331 雪しまく出口ばかりの村となり 谷川彰啓

614 鳥渡る輪廻のような観覧車 磯辺正悟

秀逸賞 11点

286 大寒の水がコップの中に立つ 牛飼瑞栄

653 午前二時流罪となりし月という 宇都宮華水

秀逸賞 10点

121 ときどきは海を見ている青蜥蜴 成清正之

122 黄落になる寸前がジャズっぽい 成清正之

280 春愁を吐いては雲に置くきりん 愛甲敬子

352 ラブユーとラブミーの間のゼリーかな 野 狂

594 枝豆のはしやぎすぎないところが好き 足立町子

600 耳を澄ませばもう団栗になっている 足立 攝